

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KAFFU		
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 7日		～ 令和7年 5月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 7日		～ 令和7年 5月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域的利便性を生かして公園での外遊びや、近隣施設での福祉祭り・お仕事体験等に積極的に参加し、事業所でも季節のイベントをしています。	季節ごとや天候、利用者のご意見を踏まえ、おでかけの公園施設を変えております。まつぼっくりが拾える、お花見ができる、チョークアートや風揚げができるなど、活動目的や混雑具合に合わせて情報収集や意見交換を行い、活動場所を選定しております。ハロウィン、クリスマス、夏祭り、運動会など各種イベントを企画し他事業所と合同開催もしています。	その時々で利用できる施設に限られたり、特別な活動があったりいたします。今後も情報収集と意見交換を頻回に行い、充実した活動にいたします。また、ご家庭で参加できるような福祉イベント等がございましたら積極的に発信することや、当事業所主催のお祭りやチャリティーイベントなども継続して開催し、告知していく予定です。
2	学習支援や登校支援に関する取り組みを継続して行っています。	学校に行きづらいケースを含め、事業所またはご家庭からの送迎することで、短時間からでも徐々に自主登校に繋がられるよう、学校との連携・学習支援・生活リズムを整える支援を行っています。友達や職員とすごせる時間を大切にしながら、無理のない支援を心がけています。	ご利用される児童の個別のケースに合わせて、送迎時間や登下校のタイミングに配慮してまいります。今後もご本人の将来の夢ややりたいことを中核においたスモールステップの目標設定で、活動や支援を継続してまいります。
3	兄弟児の支援に個別に対応しています。	最初は兄弟一緒にいい・兄弟で利用日や環境を分けたい等、個々の要望に合わせて対応しています。利用児童ではないご兄弟も楽しめるように、事業所のイベントの際はご招待して一緒に過ごせるなど、家族ぐるみの療育を心がけています。	事業所が増えたことで、支援の幅を広げ、事業所間で連携して環境を活かした支援をしていきます。兄弟が一緒に事業所にいることで、安心して仲間に加わることができるケースもありますし、兄弟児が別の事業所で活動するケースもありますので、成長過程で必要な支援をその都度、検討してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数や職員数の増加に伴い、トイレの使用が混雑するタイミングが一部あります。	利用人数の増加に合わせて、トイレの環境を整えていく必要があります。食事のあと、外活動前やお迎え後は混み合う傾向があります。土曜日は特に混雑が予想されます。また、トイレは個室1か所であることも要因の1つと考えられます。	トイレは個室1か所であり、小用便器はございません。建物の構造上、トイレの増設は難しいという問題点があります。都度、児童に対してはトイレ利用促しの声掛けをして、空いているタイミングで落ち着いて使用できるように配慮しております。土曜日は送迎に合わせて食事のタイミングも前半後半に分けており、混雑は軽減されてきています。
2	日々の清掃をして清潔保持を行っていますが、定期的が大がかりな清掃を行い、倉庫・バックヤード等の清掃を行う必要性があるとのご意見があります。	日々の活動で蓄積しがちな修理品・粗大ゴミ・経年劣化の修繕等を含めた清掃を行う為、力仕事の可能な職員の日程調整が必要であり、かつ児童の利用の少ない時間帯に協力して行う必要があります。	職員のご協力のもとで、利用児童の少ない平日午前中の時間帯に、倉庫整理や修繕・草刈り作業などを行っております。順次、日程を調整し行ってまいります。
3	時間帯によっては異年齢児が同じ空間で同じ活動をしており、人数に対して狭い空間で活動しているのではないかと印象を与えてしまいます。	年長児が未就学児と遊んでくれたり、良い関係です。みんなと一緒に活動することもあれば、イベントや学園祭、お仕事体験に行く際は、チームごとに分けて参加するため、個々の活動時間を区切って入れ替えていく必要があります。中高生は自主的に活動できる良い機会には、別班で活動させるケースがあります。	一律に事業所内で活動するのではなく、屋外や別事業所・公共施設を活用してスケジュール調整し、のびのびと活動できるように配慮しております。年齢に合わせた活動や、児童が希望する活動、今後の進路につながる活動等の引率・情報提供を、引き続き行っていく予定です。